

科 目	精神に障がいをもつ人の生活と看護				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	講義	授業時期	1 年
講師名	③松木護 ③山内英裕 ③鈴木勝年				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	精神に障がいをもつ人の生活の援助と看護師の役割について学ぶ。				
目 標	1.精神に障がいをもつ人の生活の特徴を家族を含めて理解する。 2.対象の示す状態を理解し看護上の留意点を学ぶ。 3.精神科治療に伴う問題の把握と看護師の役割について学ぶ。				
授業計画					
回	内 容				
1～5 (松木)	1.ケアの人間関係 1) ケアの前提 2) ケアの原則 3) ケアの方法 4) 関係のアセスメント				
	2.回復を支援する 1) 回復の意味 2) リカバリーのビジョン 3) 治療の場におけるリカバリーの試みと看護の視点 4) リカバリーを促す環境 5) リカバリーを促す方法とりてのグループ				
6～10	3.地域におけるケアと支援 1) 器としての地域 2) 地域における生活支援の方法 3) 地域におけるケアの方法と実際				
	4.入院治療の意味 1) 精神科を受診すること 2) 治療の器としての病院・病棟 3) 入院中の観察とアセスメント 4) ケアの方向性 5) 退院に向けての支援とその実際				
	5.身体をケアする 1) 精神科における身体のケア 2) 精神科における身体を通した看護ケアの実際 3) 精神科の治療に伴う身体のケア 4) 身体合併症のアセスメントとケア 5) 精神科における終末期ケア				

11～15	6.安全をまもる 1) リスクマネジメントの考え方と方法 2) 緊急事態の対処 3) 緊急事態とスタッフへの支援
	7.医療の場におけるメンタルヘルスと看護 1) 身体疾患をもつ患者のメンタルヘルス 2) リエゾン精神看護とその活動 3) リエゾナーズの活動の実際 4) 看護師のメンタルヘルスの支援
	8.災害時のメンタルヘルスと看護 1) 災害時における心のケア 2) 災害にみまわれ人の心理とケア 3) 支援者のメンタルヘルスとケア
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験及び平素の学習状況を総合して評価する。 60点以上を及第点とする。
教科書	精神看護学②精神看護の展開:医学書院 自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード第3版:日総研